

「ホテル・旅館ITセミナー」実施

英国アドテック会社の特別講演も

タップ

▶全国から70名超が参加



宿泊施設に特化した各種システムを提供しているタップ（東京都江東区）では7月5日、東京・箱崎にある日本IBM本社事業所にて「ホテル・旅館ITセミナー」を実施、業界関係者70名超が参加した。

冒頭、タップの清水吉輝社長が「タップのソリューションと今後

の取り組みについて」と題し、説明を行った。同社は、これまでに全国で650以上の施設で採用実績を持つ。

同社では今後、「予約チャンネルとの接続性の向上、中でも海外サイトとの連携性の強化」、「ホテル利用者とロミテーターとの連動による、レビュエーションマネジメントとPMSとのつながり

「英語対応・外貨対応等の新POSシステムとの連携を進めていく」と題して講演を行った。

同社は2015年に日本に進出したイギリスに本拠を持つグローバルアドテック会社。米国では5000社ものデータ会社と連携しており、様々なデータを収集・分析し、クライアントに対して効果的なマーケティングを指図している。

近年、消費者に対してはサービス以上の価値を提供していくことが求められている。その背景にはインターネットによって、宿泊先の選択など、代理店を介さず本人は事前

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。

「英語対応」について特別ゲストとして、クリムソントン・ジェリンのアジア太平洋洋エリア担当クライアントサービスマネージャーのジョシア・ウィルソン氏が、「予約システムデータドリブン・マーケティングの行方」と題して講演を行った。